

コミュニケーション論 講義予定

【講義の目的と概要】 コミュニケーションは行為者相互の意思伝達と考えられているが、これを可能にするものは何なのか、またそもそもコミュニケーションは可能であるのか、もし可能であるとしたらどのような意味においてであるのか—このような問題設定をもとに、言語学・哲学・社会学・心理学・精神医学・マスコミュニケーション論などの研究をもとに概説し、コミュニケーションの基礎知識として修得してもらうことで、専門科目の研究に資することを目的とする。主要なテーマは以下の7つ。①コミュニケーションとは何か、②コミュニケーションと言語の理論(言語学)、③日常言語と日常的コミュニケーション(言語哲学)、④コミュニケーションの社会的基盤(ミクロ社会学)、⑤コミュニケーションの起源(発達心理学)、⑥ディスコミュニケーション(論理学、精神医学など)、⑦マスコミュニケーションと現代におけるコミュニケーション。

【評価】 定期試験100%。

1 11/21 コミュニケーションとは何か

コミュニケーションの語源をふまえつつ、日常的に使われている「コミュニケーション」の語の意味を説明する。そのうえで、コミュニケーションの一般的なモデルを紹介し、そこに様々な概念とレベルと限界が含まれることを明らかにしていく。

【キーワード】 シャノンのモデル／ノイズ／コンテキスト／パラ言語／メタ言語／ロイド・モーガンの格律

2 11/24 コミュニケーションと言語の理論

コミュニケーションの最も一般的な手段は言語である。言語学の代表的研究としてのチョムスキー理論の中心的概念を説明したのち、サピア&ウォーフの説について概観する。

【キーワード】 生成文法／L.A.D.／臨界期／サピア＝ウォーフの仮説／分節化

3 11/28 ソシユールと記号の理論

言語学に新たな視角をもたらしたソシユールの言語学について解説していく。

【キーワード】 ラングとパロール／シニフィアンとシニフィエ／差異／アナグラム

4 12/1 記号論と物語論

ソシユールから発展した記号論と、関連する文脈で研究された物語論を紹介する。

【キーワード】 コノテーション／文化記号論／異化／詩的言語／物語の構造／物語分析

5 12/5 ウィトゲンシュタイン

言語が名詞を中心として考えられるものではなく、行為・実践として捉えなくてはならないことを説明し、ウィトゲンシュタインの言語論を、哲学的軌跡とともに解説する。

【キーワード】 『論理哲学論考』／論理言語／『哲学探究』／言語ゲーム／家族的類似／私的言語

6 12/8 日常言語の哲学(1)

後期ウィトゲンシュタインの言語論と共鳴しながら発展していったイギリスの言語哲学(日常言語学派)について解説する。

【キーワード】 不適切性の理論／発話内行為／発話媒介行為／発話内効力／発話媒介効力

7 12/12 日常言語の哲学(2)

日常言語学派から語用論に展開していくグライスの議論とライルの議論を紹介し、レトリックの理論についても説明していく。

【キーワード】 協調原理／レトリック／系統的に誤解を招く表現／カテゴリー・ミステイク

8 12/15 日常生活の社会学(1) ミード～ゴッフマン

言語を行為として見た場合に、それをコミュニケーションの社会学として考えることができる。アメリカのミードのシンボル理論とそこから発した相互作用論、その影響を受けつつも独自の相互作用論を展開したゴッフマンの理論を解説する。

【キーワード】 有意味シンボル／役割／自己呈示／印象操作／儀礼的無関心／フレーム

9 12/19 日常生活の社会学(2) シュッツ～ガーフィンケル

コミュニケーションを現象学的なスタンスから捉えたシュッツ、ガーフィンケルの創始したエスノメソドロジーの特徴を論じていく。

【キーワード】 視界の相互性／多元的現実／ブリーチング／インデックス性／ドキュメント的解釈

10 12/22 日常生活の社会学(3) エスノメソドロジー～会話分析

エスノメソドロジーとそこから派生した会話分析が、コミュニケーションをどのように捉えるのかを明らかにする。

【キーワード】 発話交替システム／隣接対／優先組織／会話の終わりの始まり／メンバー特定化装置

11 1/12 母子相互作用とコミュニケーションの起源

これまでの理論的な枠組を踏まえながら、コミュニケーションの起源としての子どもの言語習得について、発達心理学的な知見をもとに解釈を加える。

【キーワード】 一語文／象徴機能／やりとりゲーム／幼児誘発性社会行動／過剰解釈

12 1/16 ディスコミュニケーション

コミュニケーションを不可能にする様々なしくみについて明らかにしていく。

【キーワード】 ダブルバインド／うそつき／自己言及のパラドックス／結ばれ

13 1/19 マスコミュニケーションの理論

マスコミュニケーションの概論的な説明を行う。

【キーワード】 擬似環境／擬似イベント／二段階の流れ／麻酔的逆機能／アジェンダ設定／沈黙の螺旋

14 1/23 現代社会におけるコミュニケーションと公共性

インターネット等の発達によって、現代のコミュニケーションがいかなる状態にあるか、またどのような問題が生じているのかについて考察していく。

【キーワード】 マクルーハン理論／ヴァーチャル・リアリティ／シミュレーション／コミュニケーション的行為／
解読の三類型／スマートモブズ／インターネット共同体